

# 経営指標の意味と算出方法について

## 【下水道事業】

### 1. 経営の健全性・効率性

	算出式(法適用企業)
① 経常収支比率(%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$

#### 【指標の意味】

法適用企業に用いる経常収支比率は、当該年度において、料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度まかなえているかを表す指標です。

#### 【分析の考え方】

単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要であり、数値が100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取組が必要です。

	算出式(法適用企業)
② 累積欠損金比率(%)	$\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$

#### 【指標の意味】

営業収益に対する累積欠損金(営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補てんすることができず、複数年度にわたって累積した損失のこと)の状況を表す指標です。

#### 【分析の考え方】

累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが必要です。数値が0%より高い場合は、経営の健全性に課題があるといえます。

	算出式(法適用企業)
③ 流動比率(%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$

#### 【指標の意味】

短期的な債務に対する支払能力を表す指標です。

#### 【分析の考え方】

1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示しています。100%以上であることが必要であり、100%を下回るということは、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債をまかなえていないことになるため、支払能力を高めるための経営改善を図っていく必要があります。

	算出式(法適用企業)
④ 企業債残高対事業規模比率(%)	$\frac{\text{企業債現在高合計} - \text{一般会計負担額}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金}} \times 100$

#### 【指標の意味】

料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。

#### 【分析の考え方】

明確な数値基準はないため、経年比較や類似団体との比較等により当市の置かれている状況を把握・分析し、適切な数値となっているかを判断するための指標です。

	算出式(法適用企業)
⑤経費回収率(%)	$\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}} \times 100$

**【指標の意味】**

使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料でまかなえているかを表した指標であり、使用料水準等を評価することができます。

**【分析の考え方】**

使用料で回収すべき経費を全て使用料でまかなえている状況を示すため、100%以上である必要があります。数値が100%を下回っている場合は、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入によりまかなわれていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要です。

	算出式(法適用企業)
⑥汚水処理原価(円)	$\frac{\text{汚水処理費(公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$

**【指標の意味】**

有収水量1m<sup>3</sup>あたりの汚水処理に要した費用で、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標です。

**【分析の考え方】**

明確な数値基準はないため、経年比較や類似団体との比較等により当市の置かれている状況を把握・分析するための指標です。また、必要に応じて、投資の効率化や維持管理費の削減、接続率の向上により有収水量を増加させる取組などの経営改善が必要です。

	算出式(法適用企業)
⑦施設利用率(%)	$\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$

**【指標の意味】**

施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。

**【分析の考え方】**

明確な数値基準はないが、一般的には高い数値であることが望まれます。類似団体より数値が低い場合には、施設が遊休状態ではないか、過大なスペックとなっていないかといった分析が必要です。

	算出式(法適用企業)
⑧水洗化率(%)	$\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$

**【指標の意味】**

現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表しています。

**【分析の考え方】**

公共用水域の水質保全や、使用料収入の増加等の観点から100%となっていることが望ましく、100%未満である場合には、汚水処理が適切に行われておらず、水質保全の観点から問題が生じる可能性があることなどから、数値向上の取組が必要です。

## 2. 老朽化の状況

	算出式(法適用企業)
①有形固定資産減価償却率(%)	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$

### 【指標の意味】

有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合を示しています。

### 【分析の考え方】

明確な数値基準はないため、経年比較や類似団体との比較等により当市の置かれている状況を把握・分析し、適切な数値となっているかを判断するための指標です。数値が100%に近いほど、保有資産が法定耐用年数に近づいていることを示しており、将来の施設の改築(更新・長寿命化)等の必要性を推測することができます。

	算出式(法適用企業)
②管渠老朽化率(%)	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$

### 【指標の意味】

法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標で、管渠の老朽化度合を示しています。

### 【分析の考え方】

明確な数値基準はないため、経年比較や類似団体との比較等により当市の置かれている状況を把握・分析し、適切な数値となっているかを判断するための指標です。一般的に、数値が高い場合は、法定耐用年数を経過した管渠を多く保有しており、管渠の改築等の必要性を推測することができます。

	算出式(法適用企業)
③管渠改善率(%)	$\frac{\text{改善(更新・改良・維持)管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$

### 【指標の意味】

当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標で、管渠の更新ペースや状況を把握できます。

### 【分析の考え方】

明確な数値基準はありませんが、数値が1%の場合、すべての管渠を更新するのに100年かかる更新ペースであることがわかります。類似団体との比較により、当市の置かれている状況を把握・分析し、適切な数値となっているかを判断する必要があります。